



サステナブルファイナンスに関する東京ダイアログ

プログラム

日本が議長国を務める 2019 年 G20 サミットに際して、サステナブルファイナンスに関する様々なステークホルダーが参加するオープンダイアログを下記の通り開催致します。健全な地球は持続可能なすべての経済活動および社会活動のための欠かせない条件であり、中でも気候は根本的な要素であるにもかかわらず、今日、その基盤が大きく揺らいでいます。一方で、パリ協定や持続可能な開発目標(SDGs)は 21 世紀のビジネスにおける新たなゲームチェンジャーとなり、ビジネスリスクとビジネスチャンスをもたらすことがすでによく認識されています。この東京ダイアログは、民間部門が主導し、日本政府の関連省庁および国際機関からのご支援をいただいて開催するものです。この会議が、日本、アジア、ひいては世界のサステナブルファイナンスへの取り組みがより本格化するきっかけとなることを期待しています。

記

日時: 2019 年 6 月 3 日(月) 9:00 -18:00 (開場 8:30)

会場: 国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール (<https://www.i-house.or.jp/>)
〒106-0032 東京都港区六本木 5-11-16 電話:03-3470-4611(代)

定員: 140 名(招待者限定)

言語: 英語・日本語(同時通訳あり)

主催機関: 気候変動イニシアティブ(JCI)、国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP FI)

後援機関: 金融庁・環境省・外務省

協賛機関:



Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.

(協賛機関名はアルファベット順)

プログラム (敬称略)

総合司会 国谷 裕子 公益財団法人 自然エネルギー財団 理事

午前の部 (9:00-12:30)

9:00 - 9:10 主催者挨拶 (10 分)

- 末吉 竹二郎 UNEP FI アジア太平洋地域特別顧問/気候変動イニシアティブ代表

9:10 - 9:15 特別ビデオメッセージ (5 分)

- マーク・カーニー バンク・オブ・イングランド 総裁

9:15 - 9:30 来賓挨拶 (15 分)

- 長尾 敬 内閣府大臣政務官(金融庁担当)
- 勝俣 孝明 環境大臣政務官
- 鈴木 秀生 外務省 地球規模課題審議官[大使]

9:30 - 9:50 記念講演1 (20 分):

- 山折 哲雄 宗教学者「日本の自然観」

9:50 - 9:55 特別ビデオメッセージ (5 分)

- クリスティアナ・フィゲレス ミッション 2020 事務局代表 前国連気候変動枠組条約 事務局長

9:55 - 10:10 記念講演2 (15 分):

- 河野 正道 OECD 事務次長

10:10 - 10:25 休憩 (15 分)

10:25 - 10:30 特別ビデオメッセージ (5 分)

- アル・ゴア 米国 元副大統領

10:30 - 10:40 特別ゲストスピーチ (10 分):

- 小池 百合子 東京都知事 「国際金融都市・東京の実現に向けて ― サステイナブルな「新しい東京」へ」

10:40 - 11:50 **ハイレベルパネルセッション(70 分):**「社会とサステナビリティ:今、なぜ、サステナブル金融か?」
21 世紀社会をリードするのはパリ協定と SDGs と言われています。その目指すところは持続可能な社会です。では、その実現に、今、金融に必要な変革はなにか、このセッションでは、様々なステークホルダーからハイレベルのスピーカーを招き、課題認識の共有を目指します。気候変動に焦点を当てつつも、その他の環境的、社会的および経済的課題も視野に、パリ協定および SDGs と同調する金融を幅広く探ります。

- ロバート・ヤングマン OECD 環境局 グリーンファイナンスアンドインベストメント チームリーダー
- スティーブン・ノラン 国連環境計画 持続可能な金融センターイニシアティブ(FC4S) マネジング・ディレクター
- ポール・ディキンソン CDP エグゼクティブチェア
- 末廣 孝信 21 世紀金融行動原則共同運営委員長 三井住友フィナンシャルグループ 企画部 サステナビリティ推進室長
- 小森 純子 東京海上日動火災保険株式会社 経営企画部 CSR室長
- 進行: 高田 英樹 Green Finance Network Japan 事務局長/財務省

11:50 - 12:30 日中欧 金融行政とサステナビリティに関する対話 (40 分):

「金融行政とサステナビリティ: 今、なぜ、サステナブル金融か？」

サステナブルファイナンスの本格的実践には金融規制当局および政策当局によるリーダーシップが欠かせません。しかし、国や地域あるいは法域により、独自の視点やアプローチがある中で、政策当局間の協調をどう求めているのかについて、サステナブルファイナンスの政策を推進することに従事する高官が、直近の動向について情報を共有し、対話を通じて意見やアイデアを交換します。

- 池田 賢志 金融庁チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー
- 王清容 中国銀行保険監督管理委員会 戦略研究部長
- エリック・アッシャー UNEP FI 代表

午後の部 (13:30-18:00)

13:30 - 13:50 記念講演3: (15 分)

- パヴァン・スクデフ WWF インターナショナル総裁

13:50 - 15:00 パネルセッション1: 「サステナブルファイナンスと金融 3 原則」(70 分)

今年 9 月にニューヨークで開かれる国連総会で「責任銀行原則(PRB)」が正式公表されると、投資(PRI)、保険(PSI)、銀行(PRB)の三業種の国際イニシアティブが揃うことになります。これら3つの原則が今後サステナブルファイナンスの推進にあたってどのようなコラボレーションが可能になるのか議論を進めます。

- エリック・アッシャー UNEP FI 代表
- 浦嶋 裕子 MS&AD インシュアランスグループホールディングス 株式会社 総合企画部 サステナビリティ推進室 課長 兼 三井住友海上火災保険株式会社 総務部 地球環境・社会貢献室 課長
- 辻井 隆行 パタゴニア日本支社 支社長

- 松原 稔 21 世紀金融行動原則運用・証券・投資銀行業務ワーキンググループ共同座長 リ
そな銀行アセットマネジメント部責任投資グループグループリーダー
- 進行: ジャッキー・ジョンソン IAG グループ・エグゼクティブ ピープル・パフォーマンス・レピ
ュテーション

15:00 - 16:20

パネルセッション2: 「パリ協定が生み出す新たなビジネスチャンス」 (80 分)

パリ協定はビジネスと金融にとってリスクだけではなくありません。新たなビジネスチャンスをもたらしま
す。世界では、ゼロエミッションの前倒しなど様々な取り組みが始まっており、この流れにどう乗って
いくのかがビジネスにとって死活問題になってきました。このセッションでは、この新たな成長機会
にどう取り組むべきか、実務的視点からの議論を進めます。

- 阿部 哲嗣 株式会社 リコー サステナビリティ推進本部 社会環境室 室長
- 川戸 健司 自然電力株式会社 代表取締役
- 鈴木 人司 日本労働組合総連合会 (連合) 社会政策局次長
- 越川 志穂 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 CSR 室長
- レムコ・フィッシャー UNEP FI 気候変動担当
- 進行: 石田 雅也 公益財団法人 自然エネルギー財団 ビジネスグループマネージャー

16:20 - 16:35

休憩 (15 分)

16:35 - 17:45

パネルセッション3: 「SDGs が求めるポジティブインパクト」 (70 分)

このセッションでは、ビジネスおよび金融が SDGs の達成に貢献するためのポジティブインパクトの
概念、定義、原則、およびフレームワークを紹介し、3つの側面 (環境的、社会的、経済的) からみ
た持続可能な開発のビジネスケース考えます。また、「責任銀行原則」を実施する上でも重要とな
る「ポジティブインパクト」についても言及します。

- ピエール・ルソー BNP パリバグループ サステナブル事業上級戦略顧問
- 金井 司 21 世紀金融行動原則持続可能な地域支援ワーキンググループ座長 三井住友ト
ラスト・ホールディングス 株式会社 フェロー役員 兼チーフ・サステナビリティ・オフィサー
- 小林 英樹 ジャパン リアルエステイト アセット マネジメント株式会社 ESG 推進室長
- 小島 麻理 富士フイルムホールディングス (株) 経営企画部 CSR グループ マネージャー
- 進行: カリーン・アブ UNEP FI ポジティブインパクト担当

17:45 - 18:00

総括および閉会挨拶 (15 分)

- 末吉 竹二郎 UNEP FI アジア太平洋地域特別顧問/気候変動イニシアティブ代表
- エリック・アッシャー UNEP FI 代表

18:00 - 19:30

カクテル・レセプション